

2/3

交流したい農成果発表会
～世代間交流が残したもの～



小学生から大人まで、世代を超えた地域交流の活性化を目的とした“交流したい農”の成果発表会が、文化会館で行われました。小学生と高校生による“芋掘り体験”など、一年間の活動を映像で振り返ったあとは、厚狭高生の手による“ポテトマフィン”と“いもち”を試食。試食した小学生は「どっちも美味しい。何よりみんなで作業したことが楽しかった。」と、“世代を超えた交流”の成果に顔をほころばせました。

2/7

消防協力者表彰式
～迅速な処置が救った生命～



市の消防本部で「消防協力者表彰式」が行われ、福岡県在住の伊東恵子さん（写真右）に感謝状が授与されました。伊東さんは、1月21日に市内の温泉施設を利用中、心肺停止状態となった女性に対し、心臓マッサージなど救急処置を行い、約2分後に女性は意識を回復されました。処置を手伝ったお姉さん（写真左）と一緒に消防本部を訪れた伊東さんは、「元氣になられて本当に良かったです。」と、女性の無事を喜ばれました。

2/16

世界の料理教室
～世界の味を堪能～



市民館で世界の料理教室が開催され、南米コロンビア出身の後藤レオノールさん（写真中央）を講師に、受講生28人が鶏肉のトマト煮とアボカドのサラダづくりに挑戦しました。年齢も性別もさまざまな受講生のみなさん。講師の先生ともすぐに打ち解け、味付けや煮込み加減などのアドバイスを受けながら約1時間半で料理は完成（写真下）。コロンビアについての話題に花を咲かせながら、おいしくいただきました。

2/17

小野田徳利窯あれこれ
～セメントの歴史を振り返る～



本市のセメント製造関連遺産への関心を高めてもらおうと「セメント住吉社宅活用保存会」が主催する講演会が市民館で開かれました。「小野田徳利窯あれこれ」と題して行われた講演では、セメント産業の草創期を支えた“徳利窯”の果たした役割などが、様々な資料とともに解説され、会場を埋めた100名を超える聴講者は、本市の誇る産業遺産の歴史的価値を改めて学びながら、“セメントのまち”の歴史を振り返りました。